

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 石川 喜次

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和7年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 令和8年度 予算編成方針に ついて	【趣旨説明】 予算編成方針とは、町の財政状況をはじめ、各部が予算要求を行うにあたっての基本的な考え方や留意事項を示したもので、限られた財源や人材などの資源を計画的、かつバランスよく使用するために必要となります。この資源を最も効果的に使うためにも、優先順位の高い項目に資源を集中させ、町政運営の健全性を保つことができるようになります。 そこで、令和7年10月付で各部課長に向け、町長から提案のありました、この令和8年度予算編成方針について、質問してまいります。 この予算編成方針の冒頭で、本町はこれまで比較的裕福な財政が続いてきた中で、特に今現在、さらに今後予想される人件費や建設費の高騰などを考慮せずに、現状維持のまま行政運営が進められてきた。その結果、これまでの町政を継続した場合、5年後には財政調整基金がマイナスに転じ、危機的な状況となってしまうと批判されており、今こそが武豊町を立て直す最後の機会であると述べられております。 この状況を踏まえ、鳥羽町長は、町長になって初めての予算編成方針を打ち出されました。今年度の予算編成は前町長が編成したものでありますので、現在進められている実質初となる、予算編成の中で、やはり新町長として、選挙時の公約など、あれもやりたい、これもやりたいとの思いの内容となっていると思われるため、非常に興味があります。また、町民は新町長がどのような予算編成を行い、自身のカラーを打ち出していくのか、どのように武豊町を導いていくのか、強い期待と関心を寄せております。 もちろん、前年度の予算編成方針から今回の方針にも多く継続されている部分もございますが、令和8年度予算編成方針の3つの重点分野として、「AI・DXの積極導入」、「行財政改革」、「補助金の積極獲得」と掲げられております。 そこで以下質問いたします。

【質問事項】

- ① 今回の予算編成方針で、総合計画に掲げる9つの「まちづくりの目標」を踏まえ、重点施策等の推進についてなど、前町長の方針との大きな違いは何か、お伺いいたします。
- ② 令和7年度の財政状況及び令和8年度の財政見通しをどのように捉え、編成方針で公開された財政シミュレーションで判った課題と、その解決策をどのように予算編成に反映させていく考えなのか、お伺いいたします。町民の方に分かりやすくご説明ください。
- ③ この5年が町財政を立て直す最後の機会と述べられていますが、予算編成方針で示している重点3分野を進めていくにあたって、今後の行財政改革の進め方や効果をどのように考えているのか。
- ④ 今後予測される町財政状況の中、町長の公約の実現に向けての現在の考え、進捗状況と実施時期、さらに来年度の予算編成にどのように反映されるのか、お伺いいたします。特に、予算に関連のある「住民税5%の減税について」、「有料ゴミ袋の無償配布について」、「給食費の無償化、中学校ブレザーの購入支援について」、「延長保育、病児保育、児童クラブ、手ぶら登園、公園遊具の充実について」、「寝屋川モデル・フリースクールの導入について」、「育児困難な親への専門家の派遣、ヤングケアラー支援について」、「交通支援、シニアカーの購入支援について」、「副町長の選任について」、お伺いいたします。